

公開制作vol.6 安部泰輔 美術の休息

2026年5月30日(土)～9月6日(日)
長野県立美術館 本館 オープンギャラリー



安部泰輔「黄金森」制作風景、2024年、黄金町バザール2024
photo:©ELEMENT 久保 貴史

ミシンを持ち込み、毎日作品制作

公開制作は、アーティストが一定期間、美術館に滞在して作品を制作し、その制作過程や完成した作品をご覧くださいプログラムです。

2026年度は、古着やハギレを使って造形する作家、安部泰輔を招へいし、長野県立美術館のコレクション作品や善光寺にまつわる物事をモチーフとして、触れたり参加したりできる作品の制作やワークショップを展開します。

展覧会名 公開制作vol.6 安部泰輔 美術の休息

会期 2026年5月30日(土)～9月6日(日)

休館日 水曜日

会場 長野県立美術館 本館 1階 オープンギャラリー

開館時間 9:00～17:00

観覧料 無料

主催 長野県、長野県立美術館

※諸般の事情により、会期などに変更が生じる場合があります。最新情報については美術館ホームページをご覧ください。

■ 報道関係のお問い合わせ

長野県立美術館 総務課 広報係 (※2026/4/1～ 担当課・係名が変更となりました。)

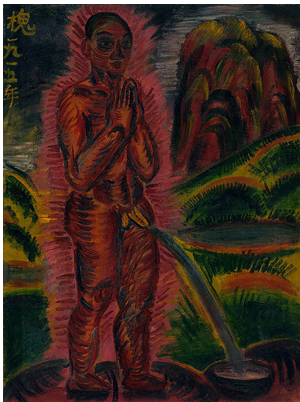
〒380-0801長野市箱清水1-4-4(善光寺東隣) HP:<https://nagano.art.museum>

TEL:026-232-0052 FAX:026-232-0050 E-mail:nam-pr@naganobunka.or.jp

展覧会概要



安部泰輔《誕生仏》2026年
photo:©ELEMENT 久保 貴史



村山槐多《尿する裸僧》1915年(信濃デッサン館コレクション)、長野県立美術館蔵

vol.6となる2026年度は、古着やハギレを使って小さな立体(ヌイグルミ)やタペストリーを制作し、そのプロセスも含めて作品とする観客参加型のインスタレーションを展開している安部泰輔を招へいします。

安部は会場にミシンを持ち込み、会期中毎日ひたすら作品を作り続けるスタイルで、全国各地の美術館やギャラリー、アートプロジェクト等で活動しつづけてきました。今回の公開制作では、オープンギャラリーを拠点に、当館のコレクションに着想を得た作品や、美術館の周辺地域とのつながりを意識した作品を制作し、美術館内外に展開していきます。

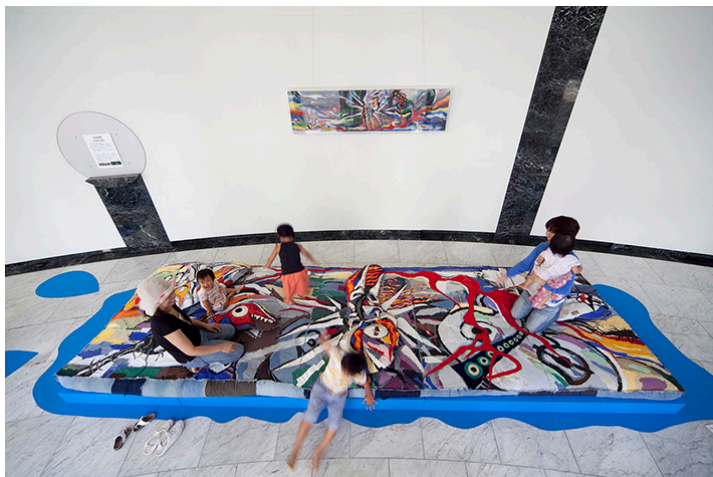
公開制作に先駆けて制作された《誕生仏》は、当館が収蔵する村山槐多の絵画《尿する裸僧》に着想を得ながら、現代美術の祖とも呼ばれるマルセル・デュシャンの代表作《泉》とそれを撮影したアルフレッド・スティーグリッツの写真、さらには国宝の《誕生釈迦仏立像》(東大寺)など、様々な要素が安部のインスピレーションによって合わさり生まれました。会期中にどんな作品が飛び出すか、その過程も含めてご注目ください。

作家プロフィール

安部泰輔 あべ たいすけ

1974年大分県生まれ、同地在住。古着やハギレを使って小さな立体(ヌイグルミ)を制作し、そのプロセスも含めて作品とする観客参加型のインスタレーションを、日本各地で展開。会期中毎日、会場にてひたすら作り続けるという独自の制作スタイルで、全国各地の美術館やアートフェスティバルなど参加・交流型のアートプロジェクトに参加。主な個展に2013年安部泰輔「シャガール世界」(高知県立美術館、高知)、2019年滞在制作+ワークショップ「ふたこもり」(As baku B/金沢市民芸術村、石川)など。主なグループ展/プロジェクトに2011年「ヨコハマトリエンナーレ2011 OUR MAGIC HOUR ー世界はどこまで知ることができるか?ー」(横浜美術館、神奈川)、2019年「現在地:未来の地図を描くために2」(金沢21世紀美術館、石川)、2024年「黄金町バザール2024世界のすべてがアートでできているわけではない」(黄金町各所、神奈川)など多数。
安部泰輔ホームページ: <https://taisuke-abe.jp/>

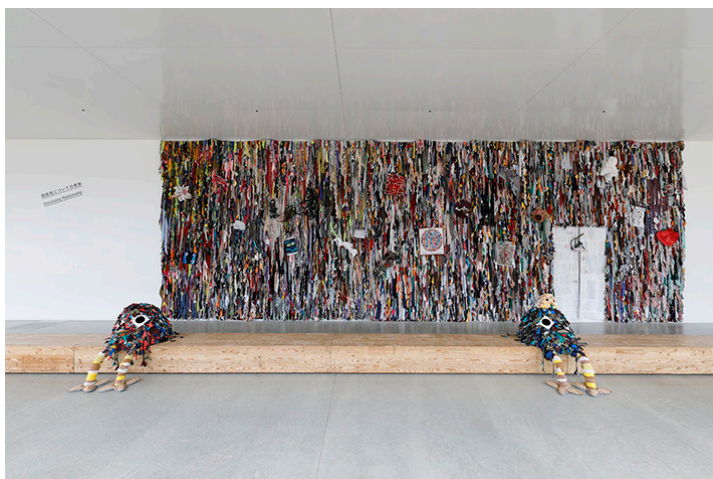
安部泰輔 作品



安部泰輔《太郎の泉》展示風景、2010年、広島市現代美術館蔵 photo:©ELEMENT 久保 貴史



安部泰輔「黄金森」展示風景、2024年、黄金町バザール2024 photo:©ELEMENT 久保 貴史



安部泰輔《ざわざわ森》展示風景、2019-2020年、金沢21世紀美術館 photo: 木奥恵三 提供:金沢21世紀美術館

関連イベント

ワークショップ **ながのもり**



安部泰輔《ざわざわ森》展示風景、2019-2020年、金沢21世紀美術館
 photo: ©ELEMENT 久保貴史

参加者が描きたいきものの絵を、作家がヌイグルミに仕立てます。いきものの絵と完成したヌイグルミは会場内に展示します。(絵とヌイグルミは会期終了後、参加者に返送します。)

日時：7月16日(木)～8月30日(日) 9:00～16:00 ※休館日を除く

会場：本館 1階 オープンギャラリー

定員：各日10名(当日先着順)

参加費：1,600円(返送費込み)

申込：参加希望の方は、当日本館1階ミュージアムショップでお申込みください。

クロストーク① **安部泰輔 × ザ・キャビンカンパニー (絵本作家)**



ザ・キャビンカンパニー

作家とゲストが対談するトークシリーズ。第1弾は絵本作家「ザ・キャビンカンパニー」のお二人をゲストに迎え、共に大分を軸に活躍する2組の関係性と創作に迫ります。

日時：6月14日(日) 11:00～12:00

会場：本館 1階 交流スペース

定員：30名(当日先着順)

参加費：無料

申込：不要

■ ザ・キャビンカンパニー

阿部健太朗(1989～)と吉岡紗希(1988～)による2人組の絵本作家/美術家。ともに大分県生まれで、同県由布市の廃校をアトリエにしている。絵本、立体、映像など様々な作品を生み出し、国内外で発表。主な絵本に『しんごうきピコリ』『がっこうにまにあわない』など。『ゆうやけにとけていく』で、第29回日本絵本賞大賞受賞。「瀬戸内国際芸術祭2025」に作品選出。

クロストーク② **安部泰輔 × 笠原美智子 (当館館長)**



笠原館長

トークシリーズ第2弾は、当館館長の笠原美智子と安部が今回の公開制作について振り返ります。

日時：8月29日(土) 14:00～15:30

会場：本館 1階 交流スペース

定員：30名(当日先着順)

参加費：無料

申込：不要